



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン

コード番号 9832 URL <http://www.autobacs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 湧田 節夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 平賀 則孝 TEL 03-6219-8787

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	167,940	△5.8	6,727	△43.8	8,051	△40.1	4,726	△40.8
26年3月期第3四半期	178,297	△2.5	11,966	5.7	13,440	7.3	7,990	20.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,667百万円 (△41.0%) 26年3月期第3四半期 9,602百万円 (40.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	54.02	-
26年3月期第3四半期	87.53	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	218,069	138,916	63.6	1,603.03
26年3月期	201,481	144,363	71.5	1,608.36

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 138,690百万円 26年3月期 143,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	27.00	-	37.00	64.00
27年3月期	-	30.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 27円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,600	△6.5	9,000	△35.5	10,800	△34.2	6,000	△38.7	69.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	89,950,105株	26年3月期	92,950,105株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,432,634株	26年3月期	3,431,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	87,501,244株	26年3月期3Q	91,283,153株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
4. 補足情報 .....	9
販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 事業環境

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、個人消費におきましては、消費税増税による駆け込み需要の反動に加え、長引く消費マインドの低迷と消費者の節約志向の高まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。国内の自動車関連消費につきましても、消費税増税後の新車・中古車需要の低迷が継続し、全般的に厳しい状況となりました。

#### ② 国内店舗における営業状況

当第3四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店7.5%の減少、全店6.3%の減少となりました。

「カー用品販売」におきましては、第3四半期において、降雪に伴うスタッドレスタイヤの需要が高まったものの、消費税増税後の消費の冷え込みと自動車販売の不振が継続したことなどに伴い、特にカーナビゲーションや車内アクセサリなどの商品需要が落ち込み、売上が減少いたしました。

「車検・整備」におきましては、消費税増税に伴い3月に前倒しで車検を実施した車両が増加したことや、リーマンショックから5年後にあたることから2回目の車検対象の車両が少なかったことなどが影響し、第2四半期までは厳しい事業環境だったものの、第3四半期は需要が緩やかに回復し、車検実施台数は前年同期比0.1%増加の約40万5千台となりました。

「車買取・販売」におきましては、前年度より取り扱いを開始した店舗の習熟度が上がってきたことに伴い、買取査定台数および成約台数が伸長し、オートオークションなど中古車販売業者向け販売が伸長いたしました。また、小売においては、新車・中古車販売ともに販売台数において前年実績を上回りました。これらの結果、総販売台数は前年同期比6.8%増加の約16,400台となりました。なお、12月末のカーズ加盟店舗は、前年度末の359店舗から433店舗に増加いたしました。

国内における出退店は、新規出店が13店舗であり、平成26年3月末の571店舗から13店舗増加の584店舗となりました。

#### ③ 連結業績

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比5.8%減少の1,679億40百万円、売上総利益は前年同期比10.0%減少の527億77百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比1.3%減少の460億50百万円となりました。営業利益は前年同期比43.8%減少の67億27百万円となりました。経常利益は前年同期比40.1%減少の80億51百万円となりました。また、株式会社オートバックス神奈川の株式売却に伴う関係会社株式売却益を特別利益に4億1百万円計上し、この結果、四半期純利益は前年同期比40.8%減少の47億26百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりであります。

#### <当社>

売上高は、前年同期比4.8%減少の1,384億51百万円となりました。消費環境の厳しいなか、当社は特に第2四半期以降、店舗売上の拡大を図るべく販促施策を推進いたしました。フランチャイズチェーン加盟法人に対する卸売部門においては、自動車販売、燃料などの売上が増加したものの、カーエレクトロニクス、タイヤ・ホイール、車内用品などの売上が減少し、前年同期比5.0%減少いたしました。小売部門では、インターネット販売によるカー用品やサービスなどの売上が増加したものの、カー用品全般の売上が減少し、前年同期比2.3%減少いたしました。売上総利益は、タイヤ・ホイールなどの商品の粗利率が上昇したものの、全般的な売上高の減少に伴い車内用品やオイル・バッテリーなどにおいて粗利率が低下し、前年同期比6.3%減少の289億11百万円となりました。販売費及び一般管理費は、管理可能な経費の削減に努めつつ、広告宣伝や販売促進を強化したことにより、前年同期比4.1%増加の199億33百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比23.4%減少の89億78百万円となりました。

#### <国内店舗子会社>

売上高は、前年同期比13.8%減少の521億15百万円、営業損失は14億55百万円（前年同期は2億58百万円の営業利益）となりました。売上高は、フランチャイズチェーン加盟法人への店舗譲渡に伴う売上減少に加え、消費税増税後の消費の冷え込みや新車販売低迷に伴うカー用品需要の低下などが影響したことにより減少いたしました。売上総利益は、売上高の減少に伴い減少いたしました。販売費及び一般管理費は、店舗子会社のフランチャイズチェーン加盟法人への譲渡および店舗賃料見直しによる経費削減などにより減少いたしました。

<海外子会社>

売上高は、前年同期比2.6%減少の77億19百万円、営業損失は1億6百万円（前年同期は76百万円の営業利益）となりました。現地通貨ベースによる各国の状況は、フランスは、景気の低迷などを受けサービス売上などが低調となり売上高および売上総利益が減少し、営業損失を計上いたしました。中国は、同国における小売ビジネスの再整備のために、上海の店舗を平成26年9月に退店いたしました。このため売上高は減少したものの、営業損失は縮小いたしました。今後は商品の輸出入を推進するとともに、新たな店舗展開を検討してまいります。タイは、10月に新店舗を開店したものの、昨年から続く政変の影響が継続したことで、売上高が減少し営業損失が拡大いたしました。シンガポールは、競争の激化により売上高が減少し、売上総利益率が低下したものの、経費の削減に努めたことにより、前年並みの営業利益となりました。

<事業子会社>

売上高は、前年同期比1.0%増加の117億32百万円となり、営業利益は前年同期比59.3%減少の90百万円となりました。主にパルスター株式会社でのオイル卸売における業容拡大に伴う経費の増加などにより、営業利益が前年同期比で減少いたしました。

<機能子会社>

売上高は、前年同期比2.4%減少の23億18百万円、営業利益は前年同期比3.4%減少の3億57百万円となりました。

<営業利益における連結調整の内容>

セグメントの営業利益の合算額から連結営業利益への調整額は、前年同期と比べ4億55百万円増加の11億36百万円でありました。

④「2014 中期経営計画」の進捗状況

オートバックス事業におきましては、平成26年10月より、お客様にとって選びやすく買い求めやすい「A.Q.」（オートバックス クオリティ。）ブランドのバッテリーの販売を開始いたしました。また、イトーヨーカドー新浦安店において車検・整備の取り次ぎを行う「車検デポ新浦安店」を開設したほか、「クルマのワンストップ・サービス」実現に向けて、「オートバックス海浜幕張店」において、接客時間の比率を高める店舗オペレーションの見直しに着手しております。

海外事業におきましては、マレーシアのジョホール州において、子会社AUTOBACS CAR SERVICE MALAYSIA SDN. BHD. を設立し、出店準備を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8.2%、165億87百万円増加し、2,180億69百万円となりました。これは、主に現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金、未収入金が増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ38.6%、220億33百万円増加し、791億52百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金、未払金が増加したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.8%、54億46百万円減少し、1,389億16百万円となりました。これは、主に利益剰余金の配当、自己株式の取得による減少があったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,675	38,383
受取手形及び売掛金	22,467	39,194
有価証券	801	—
商品	16,383	19,518
未収入金	25,219	28,794
その他	16,346	16,394
貸倒引当金	△183	△98
流動資産合計	126,709	142,187
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,849	22,548
その他(純額)	18,152	18,565
有形固定資産合計	41,002	41,114
無形固定資産		
のれん	880	944
その他	4,712	5,389
無形固定資産合計	5,592	6,334
投資その他の資産		
差入保証金	17,709	17,175
その他	10,552	11,558
貸倒引当金	△84	△301
投資その他の資産合計	28,177	28,432
固定資産合計	74,771	75,881
資産合計	201,481	218,069
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,600	38,310
短期借入金	4,394	3,644
未払金	13,998	16,075
未払法人税等	1,818	1,904
事業再構築引当金	194	81
その他の引当金	477	519
その他	5,549	5,115
流動負債合計	44,033	65,651
固定負債		
社債	15	—
長期借入金	2,312	2,229
引当金	152	113
退職給付に係る負債	189	137
資産除去債務	2,005	2,036
その他	8,409	8,983
固定負債合計	13,084	13,500
負債合計	57,118	79,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,278	34,278
利益剰余金	78,679	72,975
自己株式	△5,165	△5,698
株主資本合計	141,790	135,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,588	2,147
為替換算調整勘定	599	988
その他の包括利益累計額合計	2,188	3,136
少数株主持分	384	226
純資産合計	144,363	138,916
負債純資産合計	201,481	218,069

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	178,297	167,940
売上原価	119,655	115,163
売上総利益	58,642	52,777
販売費及び一般管理費	46,676	46,050
営業利益	11,966	6,727
営業外収益		
受取利息	68	61
受取配当金	49	78
持分法による投資利益	32	—
情報機器賃貸料	961	1,043
その他	2,067	1,654
営業外収益合計	3,179	2,838
営業外費用		
支払利息	68	50
持分法による投資損失	—	16
情報機器賃貸費用	889	876
その他	747	571
営業外費用合計	1,705	1,514
経常利益	13,440	8,051
特別利益		
関係会社株式売却益	—	401
特別利益合計	—	401
特別損失		
減損損失	200	19
特別損失合計	200	19
税金等調整前四半期純利益	13,240	8,433
法人税、住民税及び事業税	3,704	3,876
法人税等調整額	1,518	△143
法人税等合計	5,223	3,733
少数株主損益調整前四半期純利益	8,016	4,700
少数株主利益又は少数株主損失(△)	26	△25
四半期純利益	7,990	4,726
少数株主利益又は少数株主損失(△)	26	△25
少数株主損益調整前四半期純利益	8,016	4,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	996	556
為替換算調整勘定	587	407
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	1,586	967
四半期包括利益	9,602	5,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,568	5,674
少数株主に係る四半期包括利益	33	△6



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年5月8日開催の取締役会決議により、平成26年5月12日から平成26年9月17日までの期間に自己株式3,000,000株、取得価額の総額5,050百万円を取得しております。

また、同取締役会決議により、平成26年5月15日に自己株式3,000,000株の消却を実施したことにより、自己株式が4,520百万円減少し、あわせて利益剰余金が同額減少いたしました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	104,362	59,508	7,655	6,109	661	178,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,108	958	272	5,509	1,713	49,562
計	145,471	60,467	7,928	11,618	2,374	227,860
セグメント利益	11,720	258	76	222	369	12,646

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,646
棚卸資産の調整額	△750
セグメント間取引消去	△114
のれんの償却額	△83
ポイント引当金洗替額	△44
固定資産の調整額	185
その他	126
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	11,966

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに影響を与える重要な事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	102,897	50,682	7,496	6,195	668	167,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,554	1,432	222	5,536	1,649	44,396
計	138,451	52,115	7,719	11,732	2,318	212,337
セグメント利益又は損失(△)	8,978	△1,455	△106	90	357	7,863

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,863
棚卸資産の調整額	△823
セグメント間取引消去	△344
のれんの償却額	△169
ポイント引当金洗替額	△25
固定資産の調整額	278
その他	△51
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	6,727

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
報告セグメントに影響を与える重要な事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

①部門別連結売上高及び構成比率

部門	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門	102,785	61.2	98.4
小売部門	62,768	37.4	88.1
その他(リース物件の賃貸借料)	2,386	1.4	93.0
合計	167,940	100.0	94.2

(注) 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

②商品別連結売上高及び構成比率

品目	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門			
タイヤ・ホイール	30,775	30.0	101.6
カーエレクトロニクス	18,727	18.2	91.8
オイル・バッテリー	13,678	13.3	98.3
車外用品	11,178	10.9	101.4
車内用品	9,264	9.0	92.9
カースポーツ用品	5,794	5.6	93.6
サービス	2,456	2.4	104.5
その他	10,910	10.6	105.4
小計	102,785	100.0	98.4
小売部門			
タイヤ・ホイール	15,121	24.1	87.2
カーエレクトロニクス	8,083	12.9	80.1
オイル・バッテリー	5,453	8.7	87.1
車外用品	7,427	11.8	91.9
車内用品	6,213	9.9	85.4
カースポーツ用品	3,769	6.0	87.6
サービス	10,951	17.4	87.4
その他	5,749	9.2	106.7
小計	62,768	100.0	88.1
その他(リース物件の賃貸借料)	2,386	—	93.0
合計			
タイヤ・ホイール	45,896	27.3	96.4
カーエレクトロニクス	26,810	16.0	87.9
オイル・バッテリー	19,131	11.4	94.9
車外用品	18,605	11.1	97.4
車内用品	15,478	9.2	89.7
カースポーツ用品	9,564	5.7	91.2
サービス	13,407	8.0	90.1
その他	19,046	11.3	104.1
合計	167,940	100.0	94.2

(注) 1. 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 卸売部門および小売部門の「その他」は、車販売収入、中古カー用品販売およびロイヤリティ収入等でありま  
す。

3. 持分法適用関連会社㈱パップアロー他5社に対する売上高は、卸売部門に入っております。